

# 日本スポーツ法学会 会報 第51号

2018年(平成30年)9月25日

日本スポーツ法学会事務局

〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目14番16号

西天満パークビル3号館9階 アスラ法律事務所内

TEL:06-6365-5312 FAX:06-6365-5199

E-MAIL: info.jsla@gmail.com

WEB(<http://jsla.gr.jp>)

発行人 井上洋一

編集人 川井圭司

## 2018年夏期合同研究会 報告

2018年度の夏期合同研究会が、7月15日(日)に鹿屋体育大学大学院棟3階大講義室にて開催された。今年度は、「子どもとスポーツの権利を考える」をテーマとして、前半は5人の講師から報告を頂き、後半は会場からの質問を含めたディスカッションを行うという構成で行われた。

1人目の松尾彰文氏(鹿屋体育大学非常勤研究員・元教授)からは、「日本におけるエリートアスリートの現状と子ども期のスポーツ指導の留意点について」報告がされた。陸上競技を例に、技術獲得のメカニズムや、「苦しい練習」≠「良い練習」ということなど、子ども期のスポーツ指導のポイントが紹介された。

2人目の内田良氏(名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授)からは、「部活動のリアルを『見える化』する—持続可能なあり方を求めて—」について報告がされた。部活動の現状は、リスクだらけで制度設計がないまま行われていることが問題であり、今後、部活動をサステナブルなものにしていくためには、競争タイプと居場所タイプに分けていくことが重要であるという提案がなされた。

3人目の中内哲氏(熊本大学大学院人文社会科学部教授)からは、「部活動顧問教員の処遇と子どもの立場—労働法学の視点から—」について報告がされた。中内氏は、先生方へのアンケート結果をふまえて、部活動に関する制度と現実のギャップを明らかにし、労働法の観点から、現場の先生方の意向をふまえた部活動の制度構築の必要性について説明された。

4人目の渡邊修希氏(鹿児島県立鹿屋農業高校保健体育科教諭)からは、「学校教育の現場から—教育課程、特別活動の視点を含めて—」について報告がされた。渡邊氏は現役の教師であり、実際に部活動の顧問を務めているという立場から、顧問を取り巻く運動部活動の過酷な現場の状況について紹介され、部活動の目的や役割について大きな転換期に来ているのではないかと



の示唆がなされた。

5人目の森克己会員からは、「スポーツにおける子どもへの暴力防止の国際的取組」について報告がされた。子どもへの暴力防止の国際的取組やアスリート保護の新たな潮流として、子ども保護の国際標準化の動きについて紹介され、子どもへの暴力防止に向けた日本における今後の課題として、アスリートの福祉・人権として総合的に捉えることが必要との見解が述べられた。

後半のディスカッションに先立ち、本研究会のテーマに関連して、山崎卓也会員より、UNICEFと弁護士・学識経験者が集まり「子どもの権利とスポーツの原則」の策定を、現在進めている旨の紹介がなされた。スポーツにおける子どもに対する人権侵害の防止等を目的として、スポーツ関係者・団体・組織に共感・共有して頂きたい理念・価値をまとめたものであり、スポンサー企業のコミットメントと絡めて実効性を確保していくことを目指しているといった説明がなされた。

後半は、白井久明会員と齋藤健司会員がコーディネーターを務め、前半の報告に関連した会場からの質問に回答するかたちで討論が行われた。その中で、強化と切り離れた楽しむ(=Enjoy)スポーツ(居場所型スポーツ、生涯スポーツ)の重要性や、部活動における教員の位置付け・役割を明確化することの必要性

など、今後の子どものスポーツ、部活動の在り方について活発な議論が展開され、盛会のうちに終了した。  
(文責：飯田研吾)

## 2018年学会大会のお知らせ

◆日時：2018年12月15日（土）9：30～17：00  
(その後意見交換会)

◆場所：同志社大学・新町キャンパス（予定）  
(住所：京都市上京区今出川東入)  
(アクセス：市営地下鉄烏丸線『今出川』から徒歩10分)

### ◆タイムスケジュール

9：00～	受付
9：30～12：00	一般研究発表
13：00～13：30	総会
13：30～17：00	シンポジウム
17：30～19：30	意見交換会

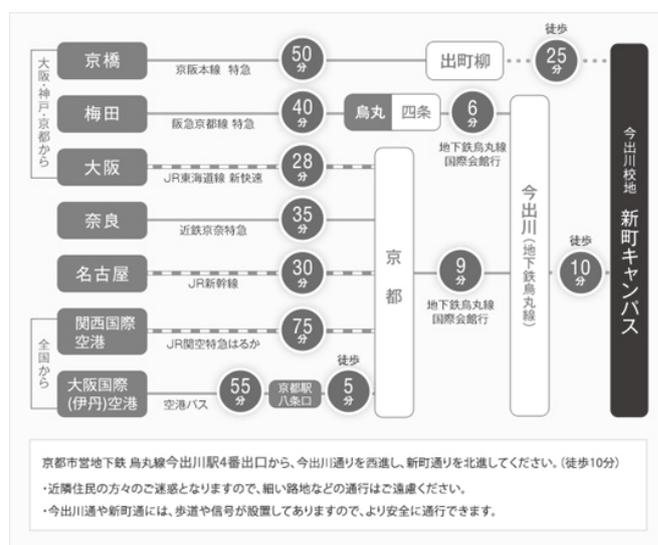
### ◆シンポジウム

テーマ：「日本のスポーツとジェンダー ～国際的視点から見た課題」

司会：富田英司（弁護士）  
太田由希奈（同志社大学）

### 報告者と演題：

1. 「スポーツ連盟およびスポーツ仲裁におけるジェンダー」  
八木由里（弁護士）
2. 「女性アスリートのキャリア形成」  
河合美香（龍谷大学）
3. 「アスリートと性的マイノリティ（LGBT）」  
村木真紀（NPO法人虹色ダイバーシティ）
4. 「アスリートとハラスメント・暴力への対策」  
石堂典秀（中京大学）



## 理事会議事要録

### ◆◆◆◆ 2018年 第1回理事会 ◆◆◆◆

日時：2018年2月17日（土）17：00～  
場所：同志社大学（新町校地臨光館308号教室）  
兼子・岩松法律事務所  
出席理事：井上洋一 会長、桂充弘 副会長、川井圭司 事務局長、伊東卓、井上圭吾、浦川道太郎、石堂典秀、大橋卓生、崔光日、白井久明、菅原哲朗、棚村政行、望月浩一郎、八木由里、吉田勝光  
委任状提出：齋藤健司、入澤充、酒井俊皓、平井千貴、松本泰介  
出席監事：森克己、関谷綾子

### 【審議事項】

#### 1. 入退会者について

以下の5名の入会申込みが承認された。

- ・高橋美穂（全日本テコンドー協会）
- ・岩尾光平（弁護士）
- ・福井俊之（弁護士）

- ・上条弘次（弁護士）
- ・井口 亮（弁護士）

## 2. 夏期合同研究会の件

森監事より、研究会の概要の説明がなされ、テーマ、構成及びパネリストについては担当理事と検討することになった。

## 3. 学会大会の件

川井事務局長より、学会大会の概要及びテーマについて説明がなされ、担当理事及び事務局と準備を進めることが承認された。

## 4. 年報の件

村上会員より、投稿論文として2本提出されていること、学会大会前に発行を予定していること等が報告された。

堀田事務局次長より、過年度分を含む編集費の確認があり、熊谷事務局員が確認の上、報告することが確認された

## 5. 会報の件

川井事務局長より、近日中に印刷がなされ、会員に配布されることが報告された。

## 6. 各委員会における年間の活動計画

吉田理事より、本年6月9日に開催される日本スポーツ法支援・研究センター主催のシンポジウムへの共催が提案され、異議なく承認された。

## 7. その他

吉田理事より、本年3月21日に当学会が後援する関西大学での中学・高校野球におけるけが防止のシンポジウムについて紹介があり、メーリングリストで共有することが確認された。

望月理事より、日本臨床スポーツ医学会との共同研究について説明および提案があり、異議なく承認された。

棚村理事より、本年4月4日に開催される早稲田大学比較法研究所主催のドイツ人学者の講演会について共催が提案され、異議なく承認された。

望月理事より、公正取引委員会の人材と競争政策に関する検討会について紹介があり、今後の関係については契約等に関する委員会で検討を進めることが確認された。

鈴木理事より、韓国スポーツ法学会への参加について報告があった。

堀田事務局次長より、陸上競技マガジン4月号の取材及び執筆の依頼について説明があり、会員より希望者を募ることが確認された。

望月理事より、JADAがアンチドーピング教育の専門家を募集していることについて紹介があった。

## ◆◆◆◆ 2018年 第2回理事会 ◆◆◆◆

日 時：2018年4月28日（土）14：00～

場 所：同志社大学（新町校地臨光館208号教室）

兼子・岩松法律事務所

出席理事：井上洋一会長、桂充弘副会長、齋藤健司副会長、川井圭司事務局長、井上圭吾、石堂典秀、崔光日、白井久明、菅原哲朗、鈴木知幸、棚村政行、松本泰介、山崎卓也、八木由里、吉田勝光

委任状提出：伊東卓、入澤充、大橋卓生、酒井俊皓、中村祐司、平井千貴、望月浩一郎、森浩寿

出席監事：森克己、関谷綾子

### 【審議事項】

#### 1. 入退会者の件

以下の6名の入会申込みが承認された。

- ・中尾豊喜（大阪体育大学）
- ・山本 衛（弁護士）
- ・吉村 類（弁護士）
- ・山田健太（専修大学）
- ・高橋景太郎（明治大学・学生）
- ・伊丹郁人（弁護士）

#### 2. 夏期合同研究会の件

森監事より、実施要項について説明があり、担当理事を中心にして発表者と調整していくことが確認された。

#### 3. 学会大会の件

白井理事より、準備状況について報告があり、担当理事を中心にして内容を詰めていくことが確認された。

#### 4. 各委員会における年間の活動計画について

吉田理事より、6月9日に共催で実施されるプール事故防止シンポジウムについて説明があり、事故判例研究会の活動とすることが報告された。

堀田事務局次長より、6月17日開催の第1回ジュニアスポーツフォーラムについて説明があった。

飯田事務局員より、11月2日3日に開催される日本臨床スポーツ医学会学術集会において合同研究の中間発表報告を予定していると説明があった。

#### 5. その他

石堂理事より、ICSEMIS2020の準備会が3月31日に実施されたと報告があった。

◆◆◆◆ 2018年 第3回理事会 ◆◆◆◆

日時：2018年7月14日（土）17：00～18：05  
場所：ホテルさつき苑

出席理事：井上洋一会長、桂充弘副会長、齋藤健司副会長、川井圭司事務局長、伊東卓、井上圭吾、浦川道太郎、石堂典秀、大橋卓生、崔光日、酒井俊皓、白井久明、菅原哲朗、棚村政行、辻口信良、水沢利栄、望月浩一郎、山崎卓也

委任状提出：入澤充、境田正樹、平井千貴、松本泰介、森浩寿、八木由里、吉田勝光

出席監事：森克己、関谷綾子

【審議事項】

1. 入退会者の件

以下の6名の入会申込みが承認された。

- ・青木秀樹（弁護士）
- ・奥田竜子（弁護士）
- ・宮原翔太郎（国士舘大学大学院）
- ・宮原 均（東洋大学法学部）
- ・湯浅大樹（弁護士）
- ・河村和徳（東北大学情報科学研究科）
- ・佐藤 楠（外国法弁護士）

2. 学会大会の件

川井事務局長より、大会内容及び自由研究発表申請内容等について、説明があった。

3. 年報の件

入澤理事の代理として川井事務局長より、作成について報告があった。

白井理事より、執筆依頼については事前をお願いしたいという指摘があった。

齋藤副会長より、年報の管理について今年から松本理事に引き継ぐと報告があった。

4. 各委員会における年間の活動計画について

川井事務局長より、紛争解決専門委員会が第三者委員会制度に関する研究について担当することが提案され、異議なく承認された。

菅原理事より、アンチ・ドーピング法に関する研究の推進について提案があり、関係者で調整して進めていくことになった。

5. UNICEFのプロジェクトの件

山崎理事より、プロジェクトに関する提案内容について説明があった。

6. トップアスリートの事故補償制度について

杉山会員より、アスリートの傷害保険制度の充実について学会に協力を求める提案があった。

7. その他

石堂理事より、ICSEMIS2020の概要について説明があった。

川井事務局長より、2019年夏季合同研究会の候補として、静岡もしくは新潟で調整中であると報告があった。

## 新入会員

- ・高橋美穂（全日本テコンドー協会）
- ・岩尾光平（弁護士）
- ・福井俊之（弁護士）
- ・上条弘次（弁護士）
- ・井口 亮（弁護士）  
(以上 2018年第1回理事会にて承認)
- ・中尾豊喜（大阪体育大学）
- ・山本 衛（弁護士）
- ・吉村 類（弁護士）
- ・山田健太（専修大学）
- ・高橋景太郎（明治大学・学生）
- ・伊丹郁人（弁護士）  
(以上 2018年第2回理事会にて承認)
- ・青木秀樹（弁護士）
- ・奥田竜子（弁護士）
- ・宮原翔太郎（国士舘大学大学院）
- ・宮原 均（東洋大学法学部）
- ・湯浅大樹（弁護士）
- ・河村和徳（東北大学情報科学研究科）
- ・佐藤 楠（外国法弁護士）  
(以上 2018年第3回理事会にて承認)

